



# 賢く 優しく 逞しく

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

武蔵村山市立第五中学校  
9月号・令和6年8月29日発行

## 「1%の可能性」を信じて

校長 榎戸 千代子

二十四節気では、処暑（8/22～9/6）を迎え、暑さも和らぎ秋の気配を感じる頃ですが、まだ、厳しい残暑が続いています。夏季休業中の8月8日（木）には宮崎県で、震度6弱を観測する地震が起これ、一週間ほど南海トラフ巨大地震の注意を促す臨時情報が発表されました。また、今年は非常に強い勢力の台風が発生しています。自然の脅威に対して、過去の教訓を生かした日々の備えや訓練の大切さを感じます。

本校では、9月1日（日）の「防災の日」を前に、8月28日（水）の始業式の日「集団下校訓練」を行いました。また、10月19日（土）の学校公開日には「引き渡し訓練」を実施いたします。「引き渡し訓練」の詳細につきましては、後日お知らせいたします。保護者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



さて、話は変わりますが、今年7月26日（金）から、第33回夏季五輪パリ大会が開催されました。日本選手のメダル獲得数は、金20個、銀12個、銅13個、メダル総数45個で、海外で行われた夏季五輪で過去最多となりました。日本選手たちの様々な活躍の場面に目に浮かびますが、なかでも「スケートボード」の男子ストリートに出場した堀米雄斗選手は圧巻でした。



一発の技を競う「ベストトリック」は、最後の1本となり、この時点で順位は7位、「泣いても笑っても最後。悔いだけは残さない。」と決め、ゆっくり滑り出しました。トライしたのは、実戦で一度しか成功したことのない難易度の高い大技。空中で横に270度回り、板の後ろをレールに引っかけて滑り降りる会心の滑走で見事成功！ただ一人97点台をたたき出し、土壇場で米国選手の得点を上回り、逆転で金メダルを獲得しました。競技中、何度もトライして失敗し、地面にたたきつけられ、腰は赤く腫れ、体も限界でした。この日は練習でも一度も決まらなかったようですが、挑戦をやめませんでした。

「きょうも1%の可能性を、自分を信じ切れた。」高校卒業後、スケートボードの母国、米国に移住し、「本場で勝てるわけがない。」と言われ続けながら、トップスケーターに上りつめました。その間、様々な苦労があったと思います。彼には、大切にしている言葉があります。「Now or Never」（今を逃したら二度とない。）彼は、「支えてくれる全ての人に感謝して、『今しかない』という気持ちで頑張る。1%の可能性だったと思うけど、その1%を信じていた。最後に実ってうれしい。」と語っています。今まで頑張ってきた自分を信じて、最後まであきらめずに挑戦する姿に自分も「やってみよう。」「頑張ってみよう。」という勇気をもたらしたような気がします。

**五中生も大活躍！ 水泳部 清水目亘琉さん 関東大会5位入賞！！**  
**吹奏楽部 東京都吹奏楽コンクール金賞！！**

水泳部3年生の清水目亘琉さんは、8月11日（日）に関東中学校水泳競技大会「男子400m自由形」に出場し、4分14秒60の好タイムで関東大会5位入賞を果たしました！！ また、吹奏楽部は8月6日（火）に東京都中学生吹奏楽コンクールに出場し、見事金賞を受賞しました！！ おめでとうございます。この他にも、夏季休業中には各部活動で様々な大会に出場し、好成績をあげました。詳細は、「五中生の活躍」のページを御覧ください。

明るくあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）